レース報告書

[1]　大会名
第３回　日本エイジグループ　トライアスロン　ナショナルチャンピオンシップ宮崎 2022
（2022JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ大会）

[2]開催日 2022 年 10 月 30 日（日）　スタート　日本選手権 9:00

[3]開催地　宮崎県宮崎市　シーガイヤ特設コース

[4]競技情報　スイム 400m（荒波により距離変更）、バイク 40km （20Km×2周）、ラン10km （2.5Km×4周）スタンダードディスタンス

[5]大会結果　総合 29 位＝1時間 50 分 29 秒（年代別1位）

スイム 6 分 25 秒（43）　バイク 1 時間 04 分 31 秒（33）　ラン 37 分 58 秒（37）

【感想と想い】
仲間と正々堂々と戦う舞台は国内最終戦の日本選手権！

この大会はポイントも高くランキング決定に大きく関係します。カテゴリーによってはランキング順位が大きく変わります。

私の場合は今シーズンはケガで粘りながらやってきましたが、先日の大阪大会でランキング 2 位から 3 位に下がっており、勝つことがプロとしては絶対条件でした。

レースは太平洋を背に強風でスイムが 400m に短縮。もしスイムができない場合は得点も変わるため、今回スイムが短縮でも実施されたことは、競技役員の皆様の「何とかトライアスロンを！」の想いが伝わり感謝いたします。バイクは強風の中で高速道路を使用し、単調ではあるがスピードコース。それに耐えられなければ一気にペースダウンするケースもあり単純かつ難しいコースです。さすがに日本選手権では拮抗した選手同士でなかなか力差が出にくい状況でした。

ランに入ってからは今シーズン初めてどこも痛くない足で競技できたことは幸せでした。ここでエピソードがあります。長年共に戦ってきた岡山の高橋泰夫選手が足を痛めており、前日それを知らされて共に支えあう仲になった昨今ではほっておけない感情もありました。

ペースが落ちてきたところで私が追い付きましたので腰を押し声をかけました（写真）。ともに引っ張り合いゴールを目指し、こんなレースは初めてだと思います。

勝ち負けのスポーツに心を大切にした戦いは今回の結果と合わせて、心が豊かに膨らんだ気がします。カテゴリーが違い、ともにランキングトップに輝く形にもなりました。

今回の結果を得て、日本ランキング 1 位に輝け、来年の世界選手権スペイン大会の権利を獲得しました。
お陰でもう 1 年はトライアスロンで生きることができます。
今シーズンも大詰めで残すは 11 月 23 日～26 日の世界選手権アブダビ大会となります。
夢をかなえてきますので応援をよろしくお願いします。

プロマインドトライアスリート　福元テツロー


NTT 西日本
LAWSON
asics
JAPAN AIRLINES
SEGASammy
SHIMANO
博慈会
1
World Triathlon Cup
MIYAZAKI
2022
JAPAN TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIPS


JAPAN TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHI
MIYAZAKI
NTT西日本
シーガイア




アトム
ダスキン福山
PEUGEOT
186
83
NTT
TAKAHASHI
JPN
HOWA
205


186
205
NTT
TAKAHASHI
JPN



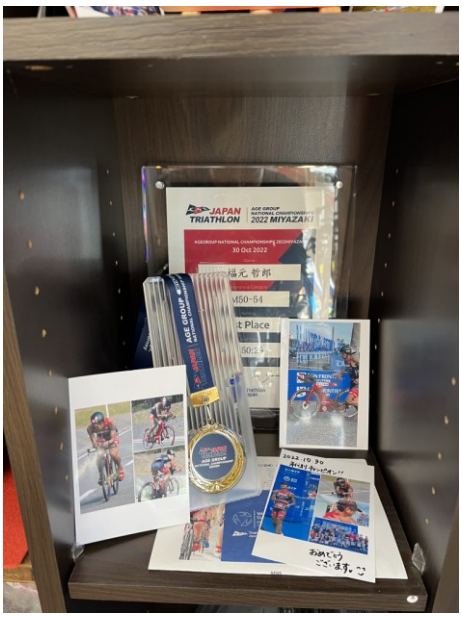

mizuno
NTT
TAKAHASHI
JPN
83


GRASTON
JAPAN


JAPAN TRIATHLON
AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIPS
MIYAZAKI


World Triathlon
Be your extraordinary


186
ZIPP


JAPAN TRIATHLON
2022 MIYAZAKI
M50-54


JTU
World Triathlon
NTT東日本
NTT西日本
World Triathlon Cup MIYAZAKI 2022
JAPAN TRIATHLON AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIPS
MIYAZAKI 2022
©Shugo TAKEMI/Japan Triathlon Media
第3回日本エイジグループ・トライアスロン・ナショナルチャンピオンシップ（2022/宮崎）結果